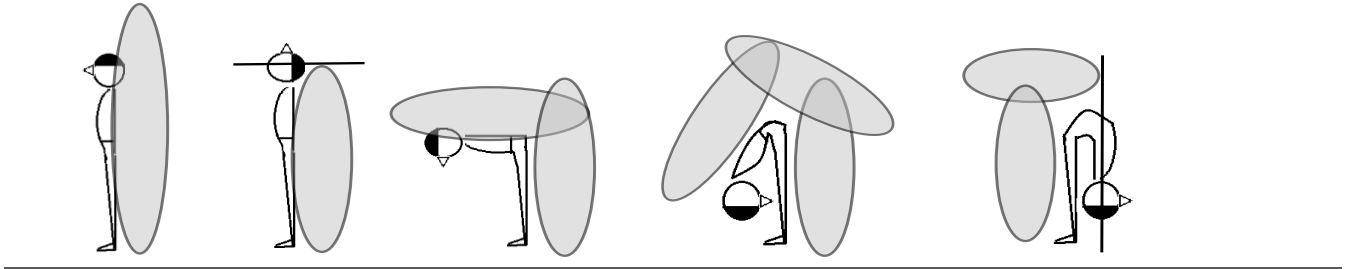


新体操男子 採点規則 Q & A

Q 1 個人競技での追加の難度について、視野外とは具体的にどこの部分ですか。

A 視野外とは基本的に背面側を指します。下図参照



Q 2 側転をしながら足で投げた場合、その側転は徒手系の 1 回として数えられますか。また、後転をしながら手具を受けた場合、後転は徒手系の 1 回として数えられますか。

A 投げ受けの間の徒手系の回数は、投げた後からのものを数えます。したがって足投げ側転の場合、投げ前約半回転、投げた後に約半回転になるため 360°には満たず、回数としては数えられません。また、後転をしながらの受け取りの場合は、足が床つくタイミング以降の受けであれば徒手系の回数として数えられます。

Q 3 ロープの投げ受けで、片方だけを落下した場合と両端を落下した場合の減点を教えてください。

A どちらの場合も落下に対しては 0.30 点の減点です。ただし、その後の演技再開までの時間や移動の歩数、また手具の静止などによって減点に差が出るようになります。

Q 4 ロープの投げ受けで片方の端を落下した場合、難度は認められますか。

A 両端の落下でなければ認められます。

Q 5 宙返りの空中でリングに足を通す技の難度と扱いを教えてください。

A B 難度になります。この場合、足に通す操作は 1 動作となるため、転回系の手具操作による格上げの対象にはなりません。仮に、その後直ちに宙返りを行い、リングを抜くなどの操作をした場合は、 $B + B = C$ に手具操作の格上げがついて D 難度になります。

Q 6 投げ受けの間に「もぐり回転」や「すべり」を行った場合の難度を教えてください。

A 「もぐり回転」の場合は 360° 回転しているので 1 動作とし B 難度、「すべり」は回転していないため動作なしの扱いとなり A 難度になります。

Q 7 投げた後に後転倒立をし、足で受けた場合の難度を教えてください。

A 後転倒立が 2 秒静止すれば徒手系難度として B 難度、静止しなければ投げ受けの A 難度となります。後転倒立は 360° の回転をとまっていないので、1 動作とはなりません。したがって 2 秒静止しなかった場合は、動作なしの投げ受けとなり A 難度になります。ただし、どちらの場合も、追加の難度「手以外の受け」に該当し 0.10 の加点があります。

Q 8 B 難度の転回系を A 難度の転回系でつなぎ B 難度（6 人で C の B）の転回系をした場合、どこで 2 回の手具操作をすれば D 難度になるか教えてください。

A 一連の転回系の中で 2 回の操作があれば D 難度になります。

Q 9 肘や腕で手具を投げたり受けた場合や、手具で受けた場合は追加の難度になるのか教えてください。

A 手以外の投げ受けの「手」とは肩から先を指しています。したがって腕や肘の投げ受けは追加の難度に該当しません。また手具で受けたり、手具と床で押さえながら受ける技は手以外の扱いになり、追加の難度になります。男子は女子とは違い申告書を使用していないため、明確に見切れるところで区別しました。

Q 1 0 B 難度の転回系→A 難度の転回系→B 難度の転回系 (6 人で C) で C 難度に格上げになった転回で交差をした場合、はじめの B 難度の転回も C 難度として扱うことができますか。

A 交差における転回系難度の格上げの解釈については次の通りです。質問のパターンは下の 2 に該当します。

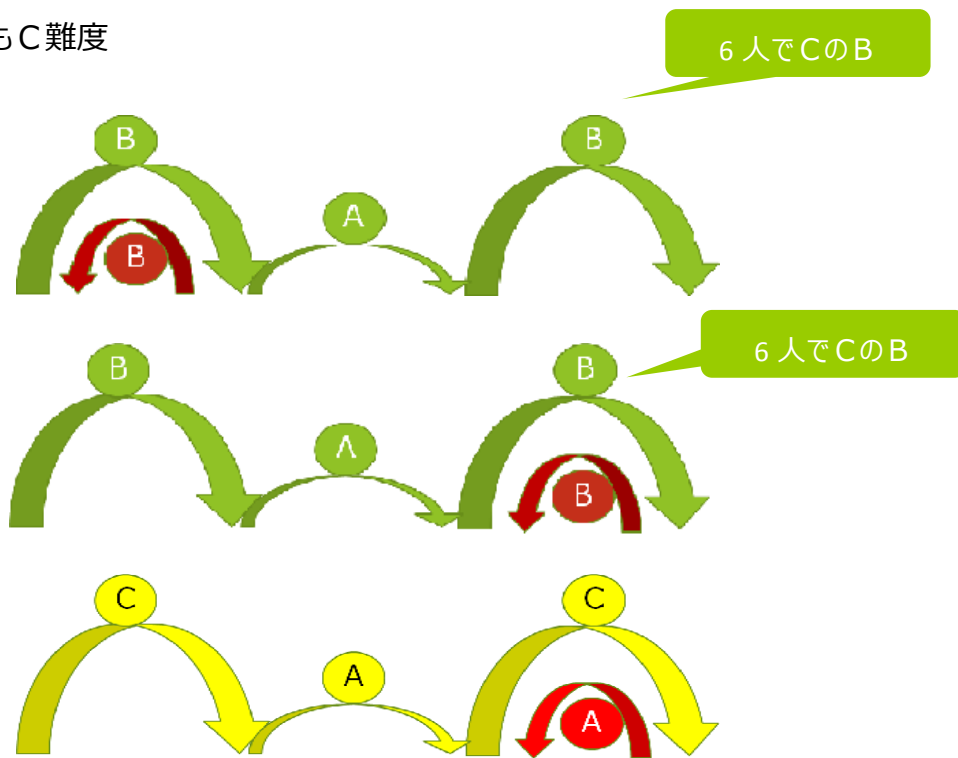
1 連続宙返りの場合は一つの難度として扱い、そのどちらで交差しても格上げした転回系として扱う。

(例) 下の場合、B 難度の宙返りの連続 = C 難度と B 難度転回系の交差となり、どちらも D 難度



2 A 難度の転回系でつないだ転回系の交差では、その転回系を格上げて難度を計算するのではなく、交差した瞬間の転回と転回で、交差の難度判定をします。

いずれも C 難度



Q 1 1 団体で 3 人が基礎難度 D、残りの 3 人が基礎難度 A の技を実施した場合の難度を教えてください。

A D 難度になります。ただし、この例のように選手間に技術的レベルの差が見られる場合は P 2 2 第 3 7 条— 3 — (2) 「難度の同一性」の項目で減点の対象になります。

Q 1 2 2006 年版採点規則までは、着地後の 1 歩の移動は減点しないという項目がありました。2015 年版ではなくなっています。今後は移動する度に減点しなければならぬのでしょうか？

A 2015 年版では着地の乱れという言葉のみになりました。ひとつの作品として見た時に、演技の流れの中でその 1 歩が意味を持ち、途切れることなく美しく用いられたものであれば減点の必要はありません。乱れとして見えた場合や他の選手と不揃いになった場合に 1 歩につき 0.10 点の減点をしてください。

Q 1 3 個人演技で手具を転がしている間に徒手系難度を行った場合、その難度は認められるか教えてください。

A ころがしは手具操作になるので認められます。
